

SPECIAL

## アレルギー外来開設

平成24年1月より、小児の免疫アレルギー外来を新たに開設いたしましたのでご案内いたします。

小児のアレルギー患者数は年々増加傾向にあり、特に小学生や幼稚園児での気管支喘息の平成23年度の罹患率はそれぞれ4.3%、2.8%で10年前のおよそ2倍になっています。しかし、気管支喘息の治療法の進歩とともに、重症の喘息患者さんはむしろ減少してきています。実際に入院治療が必要な患者さんは明らかに減少していますが、比較的軽症と思われても完全にコントロールされていない患者さんも少なくないのが現状です。そこで、アレルギー疾患の標準的治療法のさらなる普及が望まれます。一方、食物アレルギーは乳幼児から児童にかけて圧倒的に多く重症のアナフィラキシーショックを起こすこともある疾患ですが、今なお確実な治療法はなく原因食物の除去が主要な治療手段になっているのが現状です。

### 食物アレルギーの検査

鶏卵・ミルク・小麦等が乳幼児で主要な原因食物ですが、多くの患者さんは3歳前後で摂取制限を解除することが可能です。しかし、食物アレルギーに対応できる施設が限られていることもあり、不要な摂取制限を延々と続けて栄養学的に問題が生じる患者さんも少なくありませんでした。そこで、当科では正確な診断のもとに除去食は必要最低限の食品にとどめています。そして、実際に原因食物を少しずつ食べさせてアレルギー反応の有無を確認する食物負荷試験を行う体制を整備して、適切な制限解除時期を決めて食物除去期間をできるだけ短くするように指導しています。



「わかりやすいリーフレットを使用し説明しています」



「小児科外来で行っています」



「私たちが担当しています」

小児科 部長

かわむら のぶあき  
川村 信明



このように患者数も多く根治的治療法が未確立のアレルギー疾患への対策は行政の重要な政策課題にもなっています。そこで、当科は日本アレルギー学会専門医制度の認定教育施設となっていることから、アレルギー疾患診療ガイドラインの普及とともに患者さんの生活の質の向上を目指して、免疫アレルギー外来を正式に開設いたしました。特に難治性の患者さんなどおりましたらお気軽にご相談いただければ幸いです。

### 免疫アレルギー外来のご案内

免疫アレルギー外来は、15歳未満の患者さんを対象として毎週金曜日の午後に完全予約制で受付しており、かかりつけ医の診療情報提供書が必要です。

なお予約に関しては

札幌市医師会会員医師からは地域医療室

(受付時間:月~金曜日の9:00AM~5:00PM、TEL: 011-707-7705 FAX: 011-707-7706)を通しての予約、もしくは紹介状を持参する患者さんからは当院地域連携センター(TEL: 011-726-7831 FAX: 011-726-7832)への予約が必要です。